粉じんから身を守ろう！

（厚生労働省　「被災地での健康を守るために」から抜粋）

家屋などが倒壊すると、コンクリートや断熱と耐火被覆に用いられた壁材などが大気中へ舞ったり、土砂などが乾燥して細かい粒になったりします。これら「粉じん」を長期間吸い込んだ場合、肺にそれらが蓄積することで、「じん肺」という病気にかかる可能性があります。

「じん肺」は、建造物の解体などに従事する方におこりやすく、**初期には自覚症状がないため、気づかない間に進行**し、やがて咳、痰、息切れがおこり、さらに進行すると呼吸困難、動悸、さらには肺性心といって、心臓が悪くなり、全身の症状が出現します。

「じん肺」を退治する方法はないため、予防が非常に重要です。粉じんの発生する現場での作業は、専門の業者などに依頼することが薦められますが、個人で作業する場合には、以下の方法をできるだけ取り入れてください。

１．粉じんの発生をおさえましょう

 ＊水をまいたり、粉状のものはあらかじめ水で濡らしましょう

２．粉じんを除去しましょう

　　　＊廃棄装置、粉じん装置があれば使用しましょう

３．室内で作業する場合には換気しましょう

４．粉じんの吸入を防ぎましょう

　　　＊使い捨て式防じんマスクなどを着用しましょう

　　　＊粉じんが付着しにくい服装を選びましょう

５．作業後、咳、痰、息切れが続く場合は、医師、保健師に相談しましょう

****

●マスクの着用について

粉じんが舞い上がるような環境の中では、マスクを用いることが必要です。マスクは、防じんマスクやN95マスクなどのマスクを使用することが望ましいのですが、これらが手に入らない場合や、粉じんにそれほど長くばく露されない状況であれば、花粉防止用マスクなどの活用が考えられます。**粉じんの吸入を防いで健康を守るために、作業現場等においては暑くてもマスクで鼻と口を同時に覆い、顔にフィットさせて正しく着用することが重要です。**

相談・お問い合わせ先

　鳥取県中部総合事務所福祉保健局　　　　○○課　℡

鳥取県西部総合事務所福祉保健局　　　　○○課　℡

鳥取市保健所　　　　　　　　　　　　　○○課　℡

○○市・町・村　　　　　　　○○課　℡